

# 2010年度 京都大学 前期 日本史

A

- (1) 蒙古 (2) 大宰府 (3) 一円地 (4) 執権北条時宗 (5) 安芸国の守護  
(6) 建長寺船

B

- (7) オランダ風説書 (8) ウィリアム・アダムズ (9) 出嶋(出島) (10) 白糸  
(11)(あ) 徳川家光 (い) 日本国大君 (12) 京・堺・長崎・江戸・大坂

C

- (13) 青島 (14)(あ) ドイツ (い) イギリス (15) 関東州 (16) 山東  
(17) 大隈重信 (18) 石橋湛山

- |        |            |        |          |          |
|--------|------------|--------|----------|----------|
| ア 法相   | イ 推邪輪      | ウ 細川政元 | エ 松永久秀   | オ 寛永通宝   |
| カ 秤量貨幣 | キ 田沼意次     | ク 株仲間  | ケ (藩)専売制 | コ 阿波(徳島) |
| サ 下関   | シ 八月十八日の政変 | ス モース  | セ フェノロサ  |          |
| ソ 狩野芳崖 | タ 所得       | チ シャウブ | ツ 固定資産   | テ 独占禁止   |
| ト 持株   |            |        |          |          |

A

- ア 長安 イ 内裏 ウ 徳政相論(論争) エ 御霊会 オ 法成寺  
(1) 薬師寺 (2) 早良親王 (3) 条里制 (4) 慶滋保胤 (5) 藤原元命

B

- カ 道春 キ (垂加)神道 ク 末期養子の禁 ケ 大学頭 コ 閑院宮家  
サ 室鳩巢  
(6) 崇伝 (7) 貨幣改鑄(元禄金銀の鑄造) (8) 折たく柴の記 (9) 政談

C

- シ 岸信介 ス 東条英機 セ 吉田茂 ソ 保守合同 タ 警察官職務執行法  
チ 日米安保  
(10) 森戸事件 (11) 軍需省 (12) バンドン会議 (13) 国民所得倍增計画

(1)

隋の中国統一により東アジア情勢が緊迫する中、推古朝では蘇我氏の権勢を背景に、大王を中心とする国家体制の形成をめざした。内政面では、冠位十二階を制定して個人に冠位を与えることで氏族単位の政治組織の再編成をめざし、官僚の心得を定めた憲法十七条では仏教を新たな政治理念として示した。外交面では、隋へ使節を派遣して臣従しない立場を主張し朝鮮三国より優位な立場の確保に努めるとともに、仏教などの摂取をめざした。(200字)

(2)

足利義満の時代には、内政面では、有力守護の勢力が削減されて全国支配が進展し、南北朝が合一するなど動乱が終息した。さらに幕府の機構が整い、朝廷の権限も幕府に吸収され、公武両政権の支配は一元化された。対外面では、明中心の冊封体制に組み込まれ、その国際秩序のもと、日明勘合貿易や日朝貿易が開始されて盛んな通交が行われた。文化面では、禅宗の影響を受けた武家文化や公家文化などの融合が進み、北山文化が展開した。(200字)